

ぐーもも®セキュリティシリーズ ～「脆弱性診断サービス」提供開始

2024年5月30日

このたび株式会社シー・シー・ダブル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長:金成葉子）は、ぐーもも®セキュリティシリーズ「脆弱性診断サービス」の提供を開始します。

【社会的背景】

セキュリティの脅威はランサムウェアを始めとした外部からの攻撃のみならず、不注意や内部不正による情報漏洩被害も後を絶たない状況です。このような問題が顕在化する前に「脆弱性の可視化と対処」が重要になっています。

【シー・シー・ダブルが考えるセキュリティの重点対策】

企業における情報漏洩等の問題は、社会的にも影響を及ぼし、企業のイメージダウンやビジネスにも大きな影響を及ぼしかねません。問題が顕在化してしまうと、その復旧は長時間にも及び、企業活動に支障をきたす恐れもあります。早期復旧や再発防止が重要であることは言うまでもありませんが、発生しないことに勝るものではありません。当社は、長年に渡り大企業とタイアップしながらセキュリティ対策に関わり蓄積してきた多くのノウハウや知見を活かしてお客様のシステム内に潜む脆弱性を可視化し、セキュリティリスクを未然に解消することで安心・安全な社会システム運用に貢献します。このご支援に向けて「ぐーもも®セキュリティシリーズ」での「脆弱性診断サービス」の提供を開始致します。

セキュリティリスク

Webサーバー上のアプリケーション
内部不正

未適用のセキュリティ修正
ネットワーク環境の設定不備
クラウド環境の設定不備

不明アプリケーション、ファイル
不当アクセス、通信

未然防止



【ぐーもも®セキュリティシリーズ】 「脆弱性診断サービス」

Webアプリケーション診断
・入出力、認証、認可
・セッション管理、一般的脆弱性

プラットフォーム、ネットワーク診断
・サーバー（ホスト）、クラウド
・ネットワーク

スマホアプリケーション診断
・通信、端末内データ
・耐タンパー性

【サービス内容】

「WEBアプリケーション診断」

「SQLインジェクション」や「クロスサイトスクリプティング」を始め、システム停止や情報漏洩、データ改ざん、不正アクセス、認証回避などが起こりうる脆弱性を調査します。

「プラットフォーム診断」

外部からの調査に加えて、内部でインストールされたソフトウェアの調査（サーバー診断）、クラウドサービスにおける設定不備の調査（クラウド診断）などの診断を実施します。また、必要に応じてペネトレーションテスト（別見積り）を行います。

「ネットワーク診断」

インターネットの外部および内部ネットワークにおけるマルウェア感染等の可能性に対して、通信経路を介して脆弱性や設定不備の有無を調査します。

「スマートフォンアプリケーション診断」

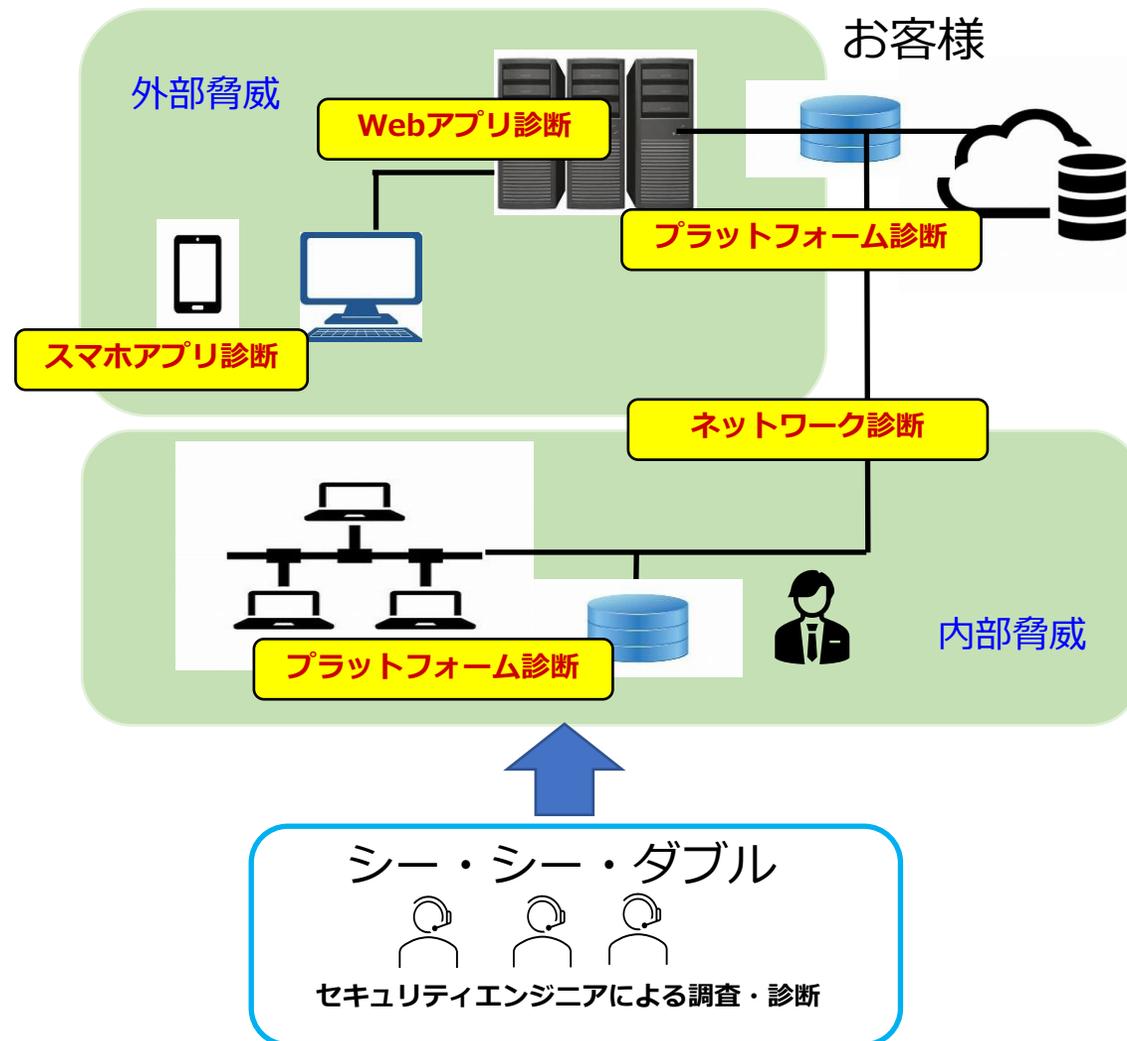
スマートフォン端末内で動作するアプリケーションを実際に操作することによって生成されたファイルや通信などへの診断を実施します。

(送られる通信や設定ファイルを分析・調査、他のアプリケーションからの情報へのアクセス可否調査)

※ペネトレーションテスト

診断対象システムに対して、故意に攻撃型アクションを投入しセキュリティリスクを抽出させることで、脆弱性の対策を行う

【脆弱性診断サービスイメージ】



シー・シー・ダブルが提供する脆弱性診断サービスでは、所属のセキュリティエンジニアが、お客様システム内に潜むセキュリティリスク（脆弱性）を調査・診断し、分かり易い説明と情報漏洩等の防止に向けた未然対策の提案を実施します。

【主な脆弱性診断サービス項目】

診断メニュー	診断項目	内容
Webアプリ診断	入出力処理調査	SQLインジェクション、コマンドインジェクション、パラメータ改ざん
	認証調査	ログインフォーム、エラーメッセージ、ログイン・個人情報の送受信
	認可調査	権限昇格、権限のない情報へのアクセス
	セッション管理調査	セッション固定、クロスサイトリクエストフォージェリ
	一般的脆弱性調査	サンプルプログラム等のデフォルトコンテンツの有無
プラットフォーム診断	サーバー診断	OSやインストールソフトに対する網羅的な脆弱性有無を調査
	クラウド診断	インターネット/Azure/AWSのセキュリティ設定を検査
	ペネトレーションテスト	網羅的な脆弱性の洗い出し診断ではなく攻撃者視点でシステム攻撃を試行
ネットワーク診断	ネットワーク診断	インターネット/内部ネットワーク環境より通信経路を介して検査を実施
スマホアプリ診断	通信調査	利用目的で定義された通信内容と送られる通信内容の確認
	端末内データ調査	重要情報の暗号化、ログ等へ出力状況、端末による重要情報への閲覧可否
	耐タンパー性調査	逆コンパイルの可否、WebViewの脆弱性の有無

～ EDRと脆弱性診断の違い～

ともにセキュリティに対する対策という目的は同じですが、その実現に向けたアプローチが異なります。

- ・ EDR …エンドポイントを常時監視し、アラート発生に対する脅威の特定から復旧を行うことで被害を最小限に抑える【早期復旧、被害の局所化】
- ・ 脆弱性診断…システムやアプリケーション内に潜在している脅威を検出し、修正や除去を施すことで被害の顕在化を防ぐ【未然防止】

※EDR : Endpoint Detection and Response

※脆弱性診断サービスはセキュアな自社センター内にてセキュリティ対応に関するエキスパートがお客様のネットワーク環境に影響を与えない形態で実施します。

お問合せ窓口：株式会社シー・シー・ダブル
(☎03-5909-5122 平日9時～17時)